

総合情報メディアセンターNEWS

2022年 10月

第14巻 第3号

紙 or デジタル？



DX（デジタルトランスフォーメーション）という言葉をよく聞く今日この頃ですが、皆さんは、紙とデジタル、どちらの資料をよく使いますか？デジタルに移行済み？それとも、紙でなくては困るものもある？？ 今回の特集では、紙資料とデジタル資料の利用について昭和キャンパスの先生と学生の皆さんにインタビューしました。群馬大学図書館の現状とDX化についてもご紹介します。



こんな質問に答えていただきました！

- Q1. 紙の資料とデジタルの資料、どちらをよく使いますか？
- Q2. 今後、紙の資料は必要なくなると感じますか？
- Q3. 図書館のDX化に期待すること

1. 圧倒的にデジタル資料。平均すると毎日10~20の論文をダウンロードしますが、じっくり読む論文は印刷して書き込むことが多いです。若い人のようにiPadだけで読めるようになればよいのですが。
2. ぱらぱらめくって必要事項を参照するには、紙の教科書・書籍が便利です。書店や図書館で、偶然目にした書籍をぱらぱらめくって新たなアイデアをもつこともあるので、紙の資料がなくなることはないのではないのでしょうか。
3. 必要な資料に迅速・簡便にアクセスできる、求める資料の検索を遠隔でも支援してもらえること、関心領域の最新文献等を定期的に紹介してくれること、などでしょうか。
 (医学図書館長・医療の質・安全学教授 小松康宏先生)



1. よく使うのはデジタルの資料で、PubMedや医中誌Webなどのデータベースで検索したり入手したりしています。
2. 図書館向けの電子書籍の価格やライセンス維持などの費用が、紙の書籍より高額である状況が続くのであれば、紙の資料は必要だと思います。
3. 2で述べた費用面の課題はありますが、電子書籍数が増えるとありがたいです。また、無料ダウンロードができる電子ジャーナル数も、増えると助かります。
 (大学院保健学研究科 看護学講座 高橋さつき先生)



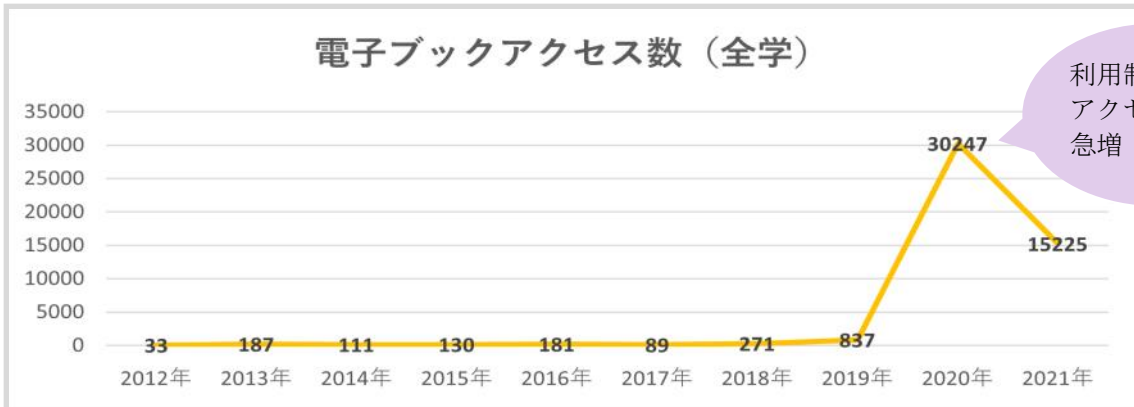
1. 元々は紙の資料が好きで索引からページを探したりもしますが、量が多くなると嵩張ってしまうので、デジタルを使うことが多いです。
2. ページをめくる感触など、読書は紙の本が好きですし、これからも使います。
3. 電子ブックは、複数人が同時に利用でき、試験期間などに同じ本に貸出の予約が殺到する問題を解決できるので便利だと思っています。
 (医学部医学科6年 川村美樹さん)



1. 基本デジタルです。紙は、ネット上で読めない論文を先生から紙でもらって読む時くらいしか使っていないです。
2. 紙は書き込みができる利点がありますが、今はiPadでも書き込みできるし…。紙は嵩張るし、なくても困らないかもしれないです。
3. 具体的に挙げるのは難しいですが、便利になればと思います。(大学院理工学府電子情報・数理教育プログラム1年 川上雄大さん ※重粒子医学センターにて研究中)



図書館での利用は？



※Maruzen eBook Library利用統計

図書の貸出冊数は、コロナ禍による利用制限を実施した（休館含む）2020年に大きく減少しました。電子ブックのアクセス数がそれに反比例するように急増しているのが、お分かりになるかと思います。図書の貸出冊数は、利用制限が緩和された2021年もコロナ禍以前までは回復していません。電子ブックのアクセス数もピーク時の2021年よりは減少したものの、存在が認知されたせいか、利用されています。今後も図書と電子ブック、両方の利用状況を注視してゆきたいと思います。

紙&デジタル

図書館では、どちらのニーズにも応えるべく、どちらの媒体でも出版されていて利用の多いタイトルは、紙の図書と電子ブックの両方を提供しています。

例) 血液細胞アトラス. 第6版 / 通山薫, 張替秀郎編 (文光堂, 2018)

◆図書 医学図 2 F図書 (指定書) 請求記号 WH17:To69:6th

◆電子ブック <https://elib.maruzen.co.jp/elib/html/BookDetail/Id/3000076884>

群馬大学総合情報メディアセンター図書館部門でのDX1例

電子ジャーナル, 電子ブックの充実

電子ジャーナルは8212タイトル, 電子ブックは1346タイトルを読むことができます。OPACやDBからもアクセス可能です。

貴重資料のデジタル化

新田文庫, 田辺文庫, 明治期教科書などの貴重資料の電子化のほか, 郷土かるたコレクションも電子化され, 一般公開されています。

機関リポジトリの拡充

群馬県地域共同リポジトリAKAGIから群馬大学独自のリポジトリへ移行予定です。オープンアクセスへの対応を進めています。

オンライン利用申請の推進

My Libraryを利用することで, 図書の取寄せや貸出延長がオンラインで可能です。また, 各種申請書の押印を廃止しメール申請を進めています。

展示企画「理想の大人」を開催中です

理想の大人はどうしたらなれるでしょうか。コミュニケーションが上手に取れる人。お金を自分で稼いで自立して生きていける人。思いやりのある人。相談にのって問題を解決してくれる人。思い描く大人は人それぞれです。

では自分は今どのような人でしょうか。友達とコミュニケーションが取れていますか？グループで課題解決の為に意見を取りまとめてくれるのは自分ですか？仲の良い友人ですか？自分の得意な役割は？

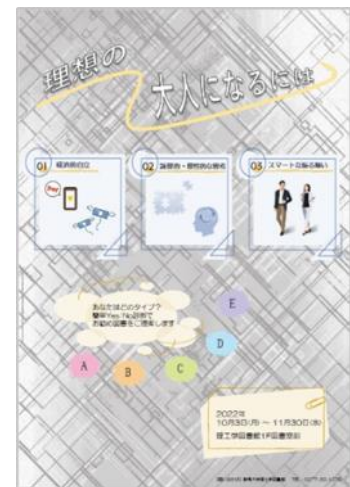
理工学図書館では、簡単な質問にYes/Noで答えて自分はどのタイプかを診断し、さらにタイプ別に理想の大人になる為のお勧め図書を提案いたします。

自分を知って、どのように行動するか。これから社会に出る前に身につけたいスキルを一つずつ取り入れていきましょう。その第一歩として是非図書館をご利用ください。

期間：10/3（月）～11/30（水）
場所：理工学図書館1F図書室前

（理工学図書館 森山沙織）

—理工学図書館—



「医中誌Web利用ガイド」を作成しました—医学図書館—

医学図書館では、医中誌 Web の検索方法がよくわからない…という方向けに「医中誌 Web 利用ガイド」を作成しました。医中誌 Web は、国内発行の医学関連分野の文献情報を集めた、代表的な文献検索データベースです。この利用ガイドには「キーワード検索」といった基本的な検索方法や、欲しい文献が見つからないときの「検索方法

Q&A」などを載せています。三つ折りリーフレットの形で、1階のPCコーナー入口、1階と2階のパンフレット架にありますので、ご自由にお持ちください。今後はウェブサイトからも見られるようにする予定です。ぜひ利用ガイドを片手に、医中誌 Web を使ってみてください。

（医学図書館 飯塚愛）



ジャパンナレッジLib の新規コンテンツについて

辞書・辞典データベース ジャパンナレッジLib は、「新日本古典籍総合データベース」との連携が行われ、検索結果から前述データベースのより詳しい

情報を閲覧できるようになりました。

また、「有斐閣 現代心理学辞典」「小学館 オックスフォード英語類語辞典」等の辞典が追加

されました。お役に立ちましたら幸いです。

（中央図書館 山村大）



情報セキュリティ10大脅威2022

IPAから昨年度の情報セキュリティ事故から選出した「情報セキュリティ10大脅威 2022」が発表されました。「フィッシング」のような定番のものから「クレジットカードの不正利

用」「スマホ決済の不正利用」など具体的な事例も多数あり、一読をお勧めします。

多くの脅威に対する対策としてパスワードの管理・認証の強化が挙げられています。今一度

パスワードや認証の取り扱いの見直しをお願いします。

<https://www.ipa.go.jp/security/vuln/10threats2022.html>

（准教授 濱元信州）

「上毛かるたと群馬のかるた展」を開催しましたー中央図書館ー

7月14日から9月2日まで、中央図書館にて「上毛かるたと群馬のかるた展」を開催しました。見どころは、6種類の「上毛かるた」全札展示です。75年の歴史を持つ上毛かるたは、発行当時の初版（昭和22年発行）、絵札に微細な変化のある改訂版（展示は昭和40年版）、昭和43年に大幅に絵札が書き換えられた再改訂版（展示は平成27年版）と3種類の絵札があります。また、英語版「上毛かるた」も3種類あり、それぞれの読札の英訳を比較して見られるようにしました。

ほかにも、「郷土かるたコレクション」デジタルアーカイブでは非公開のかるたのうち、群馬県内の「中之条かるた」「にいさとかるた」「尾島かるた」「吉井かるた」など17種類を入れ替えながら展示しました。

本展は新聞各社やNHKニュースで報道され、300名以上の方にご来場いただきました。

皆さんそれぞれ楽しそうにご覧になる姿が印象的でした。「上毛かるた」がたくさんの方に愛されていること、また、県内外で「上毛かるた」をお手本とした郷土かるたが続々と作られて

おり、その影響力を改めて感じる機会となりました。

（中央図書館 山内可菜）



Googleドライブ等の保存容量削減のお願い～Googleフォトの設定について～

本学で契約中のGoogle Workspace for Education (Gmail, Google drive等Googleのサービス全て)は、2023年1月より容量制限を受けます。皆様のご協力により容量が適正に近づいておりますが、全体で保存容量を100TB以内にするためには、さらなる削減のご協力が必要です。今一度ご自身の現在の使用量をご確認ください。

今回はGoogleフォトの設定について注意点をお知らせ致します。スマートフォンの設定により、Googleフォトの自動同期が行われたままになります。Googleフォトにある写真や動画を消していただいた方も、スマートフォンの設定の「自動同

期」がONになっていないかご確認ください。以下のQRコードから設定方法を確認できます。

（「バックアップと同期のオン、オフを切り替える」→「バックアップと同期」の設定を「オフ」にしてください）

重ねてのお知らせとなりますが、利用者の皆様におかれましては、引き続き使用量の削減にご協力いただきますようお願いいたします。教職員及び在学生はOneDriveも利用できますので、移行もご検討ください。詳細は、総合情報メディアセンターのホームページ（2022年7月22日掲載「Googleドライブ等への容量制限について」）をご確認ください。

（講師 小川康一）



Android



iPhone



群馬大学総合情報メディアセンター

荒牧地区:前橋市荒牧町4-2
昭和地区:前橋市昭和町3-39-22
桐生地区:桐生市天神町1-5-1

TEL (027) 220-7170
FAX (027) 220-7184



本コンテンツは、クリエイティブ・コモンズの表示-改変禁止 3.0 ライセンスのもとでライセンスされています。

Webサイト <https://www.media.gunma-u.ac.jp/>

図書館ブログ <https://blog.media.gunma-u.ac.jp/>

Twitter公式アカウント [@Media_Gundai](https://twitter.com/Media_Gundai)